

きたnote. 『市民ライターのリポート』



レポートの全文は北上市の都市ブランドサイト「きたかみリズム」をご覧ください。



この記事のライターさん

北村 美紀さん

本年度から市民ライターになりました。本が好き。視野を広げながらまちの魅力を伝えます。



中央図書館の1階には、膨大な量の本を収めた閉架書庫があります。一般公開されていませんが、職員に申し出れば借りることができます。その中で今回紹介したいのは「和賀新聞」。なんと明治時代のものもあり、きちんと保管されていることに驚きと感動を覚えます。携帯やパソコンでも新聞が読めるようになり、紙に触れる機会は減る昨今ですが、やはり紙ならではの良さがあります。

紙面にはその時代の空気が反映されています。印象的だったのは昭和19年～21年あたりの発行分が無いこと。終戦前後のこの時期の紙面は存在しないそうです。物言わぬ書物が語る、戦争の傷跡のように感じました。

終戦から77年が経った今年。戦争関連の書物をそっとひもといて、当時の記憶に触れてみてはいかがでしょうか。悲しみと苦しみを生んだ時代を知ることが、現代を生きる私たちができる平和への第一歩のような気がします。



(上)閉架書庫には2階に置ききれなくなった本や利用回数が減った本を保管
(左)終戦前後の時期の紙面が存在しない和賀新聞(館内閲覧のみ)

こちら「きたかみE&Beエフエム」です



デビュー戦のさくらまつり特別番組のリポートに出発する前の一枚(左上から時計回りに、阿部直大さん、本田啓人さん、鎌田輝恵さんと私)

はじめまして。大学を卒業してこの春からきたかみE&Beエフエムで働くことになり

ました。ラジオにハマったきっかけは11歳の誕生日にラジオセをもらったこと。深夜の勉強中や停電して心細く怖かった夜、そばにはラジオがありました。約10年後の自分がこうしてマイクの前に座っていると、驚きです。

ラジオの魅力は、明るい話題や楽しいことだけでなく悲しみや寂しい気持ち、落ち込んだ気持ちも共有できること。「日常にも、非日常にも、ラジオをそばに」の言葉を大切に、皆さんがそばにいてほしいと思う話し手になれるよう精進します。

7月から夕方ワイド番組「ON! ラジ」を担当しています。運転や散歩、夕食の準備などの時間にそばに置いていただけたらと思います。メッセージを通じて皆さんとお話できることを楽しみに頑張ります。

パーソナリティ紹介



志田 陽菜さん

ON! ラジ(毎週月～木曜16時～19時)の火・水曜日を担当。トークもミキサーも修行中のいいあべ1年生です。



いいあべ E&Beエフエム88.8MHz アプリ「FM++」でも聴取できます (おでんせプラザぐるーぷ内)

0197-62-8833 e-be@fm888.jp



ホームページ



Facebook



twitter

まちの話題

市内の話題を紹介

四国インターハイ陸上競技棒高跳びで好成績 菅野航太さんが表彰台入り 8/30

全国高等学校総合体育大会の陸上競技男子棒高跳び(8月3日、4日・徳島県鳴門市)で準優勝した菅野航太さん(黒沢尻工高3年)らは、高橋市長を表敬訪問し、結果を報告しました。

菅野さんは決勝で自己ベストの5尺に挑戦し、見事に成功。優勝記録5尺10には及びませんでしたが、「表彰台に必ず乗りたいという気持ちだったので素直にうれしい」と喜んでいました。今後は、栃木国体で自己ベストの更新と優勝を目指します。



北上の秋の味覚を全国へ

二子さといも初出荷式 9/7

令和4年度二子さといも初出荷式は、JAいわて花巻北上地域二子さといも選果場で行われました。関係者や生産者など、およそ30人が出席。テープカットや乾杯で出荷を祝いました。

今年は植え付け後の低温により生育が遅れましたが、その後は好天に恵まれ立派に育ちました。昨年新たに導入した選果機により作業効率も向上。出荷量は昨年の1.4倍となる182ト、販売金額は1.5倍の7,500万円を目標に、11月末まで県内外に出荷されます。

農業という仕事を知る 中学生が農業体験 9/2

北上中学校1年生の農業体験は、きたかみグリーン・ツーリズム推進協議会が主催し、市内各地域の農家や農業団体などの畑で行われました。

うるおい春夏秋冬(相去町)には生徒18人が参加。タマネギの根切りや苗の間引きなどを行いました。初めて作業した金城宏志朗さんは「作る苦労が分かった」と汗を流していました。



災害時を想定して行動 北上市総合防災訓練 9/4

北上市総合防災訓練は、市内全域への緊急速報メール配信や、地域住民による避難訓練が黒岩地区交流センターで行われました。

黒岩小学校と黒岩まんなか広場では、参加体験型訓練を実施。参加者は、水陸両用バギーへの乗車や防災伝言ダイヤルを操作したほか、防災グッズなどの展示を見て回るなどして、災害時の備えを再確認していました。



小学生が働くことを体験 鬼っジョブ2022 9/11

鬼っジョブ～北上おしごとパーク～2022は、3年ぶりにさくらホールで開催されました。小学4～6年生の約160人が参加。さまざまな職業を体験し、館内で使える通貨を給料としてもらうことで、社会の仕組みに触れていました。

ラジオのパーソナリティに挑戦した松本ひなのさん(黒沢尻北小5年)は「こんな感じで放送するのか」と好奇心にあふれていました。

